

地域連携推進機構

Organization for Promotion of Regional Collaboration

地域医療・保健支援部門

Community Medicine and Health Support Division

部門長 (併)	関根 道和	Michikazu Sekine
副部門長 (併)	田村須賀子	Sugako Tamura
教授 (併)	金森 昌彦	Masahiko Kanamori
教授 (併)	比嘉 勇人	Hayato Higa
教授 (併)	竹内登美子	Tomiko Takeuchi
教授 (併)	西谷 美幸	Miyuki Nishitani
教授 (併)	安田 智美	Tomomi Yasuda
教授 (併)	八塚 美樹	Miki Yatsuzuka
准教授 (併)	桶本 千史	Chifumi Okemoto
准教授 (併)	高倉 恭子	Kyoko Takakura
助教 (併)	山田 正明	Masaaki Yamada
コーディネーター	鈴木唯夏子	Yukako Suzuki
副部門長 (前)	立瀬 剛志	Takashi Tatsuse
教授 (前)	鈴木 道雄	Michio Suzuki
教授 (前)	布村 忠弘	Tadahiro Nunomura
コーディネーター (前)	藤森 純子	Junko Fujimori

◆ 研究概要

地域医療・保健支援部門は、地域連携推進機構の一部門として地域の各種社会資源と連携した、地域医療や地域保健に関する調査研究、人材育成、情報発信に関する事業を行っています。

◆ 地域連携推進事業

- 1) 田村須賀子。「富山県エイジレス社会活動推進協議会」委員，2015-16 年度。
- 2) 田村須賀子，西谷美幸，比嘉勇人，八塚美樹，安田智美，竹内登美子，高倉恭子，関根道和，山田正明。「地域ケア会議等」アドバイザー，2015-16 年度。
- 3) 関根道和。日本がん登録協議会都道府県がん登録室外部監査委員，2016 年度。
- 4) 関根道和。富山県医師会脳卒中情報システム運営委員会委員，2016 年度。
- 5) 関根道和。富山県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会委員，2016 年度。
- 6) 関根道和。富山県アルコール健康障害対策関係者会議委員，2016 年度。

◆ 著 書

- 1) 竹内登美子。認知症の語り。健康と病の語りディップボックス・ジャパン編。東京：日本看護協会出版会；2016 Jul. 「認知症本人と家族支援のための Web サイト」プロジェクト；p. 556-74.

◆ 原 著

- 1) Takeuchi T, Muraoka K, Yamada M, Nishio Y, Hozumi I. Living with idiopathic basal ganglia calcification 3: a qualitative study describing the lives and illness of people diagnosed with a rare neurological disease. Springer Plus. 2016 Oct; 5: 1-8.
- 2) 杉山由香里，比嘉勇人，田中いずみ，山田恵子。患者の内面的成長に向けた看護師の援助的コミュニケーションプロセス。富山大看誌。2016 Mar；15(2)：73-91.
- 3) 藤野由紀子，安田智美，道券夕紀子，茂野 敬，梅村俊彰。在宅高齢者の皮膚生理機能とスキンケアの実態調査。富山大看誌。2016 Mar；15(2)：93-104.
- 4) 藤野由紀子，安田智美，道券夕紀子，茂野 敬，梅村俊彰。在宅高齢者の予防的スキンケアに関する研究 保湿成分

入り入浴剤とローションの比較. 富山大看誌. 2016 Mar ; 15(2) : 105-16.

- 5) 山田恵子, 比嘉勇人, 田中いずみ. 精神看護実習における構造判別図作成に対する学生の評価. 富山大看誌. 2016 Mar ; 15(2) : 117-25.
- 6) 室谷 寛, 比嘉勇人, 田中いずみ, 山田恵子. 看護師の首尾一貫感覚に私的スピリチュアリティおよび二次元レジリエンス要因が及ぼす影響. 富山大看誌. 2016 Mar ; 15(2) : 137-43.
- 7) 牧野耕次, 比嘉勇人, 甘佐京子, 山下真裕子, 清水康男. 精神科看護におけるかかわり (involvement) 研修の開発と評価. 人間看研. 2016 Mar ; 14 : 9-16.
- 8) 中堀伸枝, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 子どもの食行動・生活習慣・健康と家庭環境との関連: 文部科学省スーパー食育スクール事業の結果から. 日公衛誌. 2016 Apr ; 63 : 190-201.
- 9) 茂野 敬, 安田智美, 梅村俊彰, 伊井みず穂, 道券夕紀子. 富山市におけるオストメイト対応トイレの実態調査. 日ストーマ・排泄会誌. 2016 Jun ; 32(2) : 21-7.
- 10) 川辺千秋, 伊井みず穂, 茂野 敬, 道券夕紀子, 梅村俊彰, 吉井 忍, 新鞍真理子, 寺西敬子, 成瀬優知, 安田智美. 介護における主介護者の身体的負担感及び恐怖 要介護者の摂食・嚥下障害の症状との関係. 富山大看誌. 2016 Sep ; 16(1) : 13-27.
- 11) 村上 章, 比嘉勇人, 田中いずみ, 山田恵子. 認知症看護実践における看護師の認知症イメージの形成プロセス. 富山大看誌. 2016 Sep ; 16(1) : 29-40.
- 12) 茂野 敬, 伊井みず穂, 梅村俊彰, 安田智美. 北陸地方在住のストーマ保有者の QOL の実態調査. 富山大看誌. 2016 Sep ; 16(1) : 41-9.
- 13) 須永 (高倉) 恭子, 西井和実. 訪問看護ステーションの運営に関する検討 管理者の悩みから把握した運営の課題. 日看会論集: 在宅看. 2016 May ; 46 : 79-82.

◆ 学会報告

- 1) Sekine M, Suzuki M, Kido H, Yamada M, Tatsuse T. The projected number and prevalence of dementia in Japan: results from the Toyama Dementia Survey. The 25th European Congress of Psychiatry 2016 ; 2016 Mar 12-15 ; Madrid.
- 2) Yamada M, Sekine M, Tatsuse T. et al. Factors related to physical and mental health among family caregiver's of dementia elderly: the Toyama Dementia Survey, Japan. The 23rd Nordic Condress of Gerontology; 2016 Jun 20-22 ; Tampere.
- 3) Morita N, Iba N, Beppu H, Hirono Y, Akimoto R, Nakamura C, Goto K, Wada E, Setoyama Y, Aoki A, Takeuchi T, Sawada A, Sakuma Sato R, Semba M. Development of educational program using patients' narratives in DIPEX-Japan as a trigger film. International Conference on Narratives of Health and Illness; 2016 Nov 11-12 ; Spain.
- 4) 関根道和, 林 裕志, 天神久実, 山田正明, 立瀬剛志. 富山県における認知症高齢者数と有病率の将来予測～富山県認知症高齢者実態調査の結果から～. 第 50 回富山県公衆衛生学会 ; 2016 Feb 9 ; 富山.
- 5) 天神久実, 林 裕志, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 長谷川式認知症スケールと認知症受診歴との関係～富山県認知症高齢者実態調査の結果から～. 第 50 回富山県公衆衛生学会 ; 2016 Feb 9 ; 富山.
- 6) 林 裕志, 天神久実, 関根道和, 山田正明, 立瀬剛志. 富山県の二次医療圏別の認知症有病率と関連要因および医療資源に関する分析～富山県認知症高齢者実態調査の結果から～. 第 50 回富山県公衆衛生学会 ; 2016 Feb 9 ; 富山.
- 7) 山田正明, 関根道和, 立瀬剛志. 認知症高齢者を見る家族介護者の健康における関連要因—平成 26 年度富山県認知症高齢者実態調査から—. 第 70 回富山県医学会 ; 2016 Mar 13 ; 富山.
- 8) 中堀伸枝, 関根道和, 立瀬剛志, 山田正明, 林 裕志, 天神久実. 認知症と生活習慣・既往歴との関連. 第 70 回富山県医学会 ; 2016 Mar 13 ; 富山. (優秀賞受賞)
- 9) 高野一江, 青木頼子, 竹内登美子, 新鞍真理子, 牧野真弓. 特別養護老人ホームに勤務する看護師が考える看取りにおける役割. 第 29 回日本看護福祉学会学術大会 ; 2016 Jun 25-26 ; 奈良.
- 10) 関根道和, 鈴木道雄, 木戸日出喜, 山田正明, 立瀬剛志. 日本の認知症高齢者数・有病率の将来予測: 富山県認知症高齢者実態調査の結果から. 第 26 回日本疫学会学術総会 ; 2016 Jun 26-28 ; 米子.
- 11) 田中いずみ, 比嘉勇人, 山田恵子. 看護専門学校教員における職業キャリア成熟に関する構成要素. 第 26 回日本精神保健看護学会学術集会 ; 2016 Jul 2-3 ; 大津.
- 12) 山田恵子, 比嘉勇人, 田中いずみ. 精神看護臨地実習前後の援助的コミュニケーションスキルの変化に関する研究. 第 26 回日本精神保健看護学会学術集会 ; 2016 Jul 2-3 ; 大津.
- 13) 牧野真弓, 竹内登美子, 新鞍真理子, 青木頼子, 加藤真由美. 認知機能低下高齢者の生活行動による自己抜去と転倒を予防する熟練看護師の思考過程. 日本老年看護学会第 21 回学術集会 ; 2016 Jul 23 ; 埼玉.

- 14) 米山真理, 竹内登美子, 新鞍真理子, 青木頼子, 牧野真弓. レビー小体型認知症者を在宅で介護する家族の体験. 日本老年看護学会第21回学術集会; 2016 Jul 23-24; 埼玉.
- 15) 桶本千史, 林佳奈子, 高木園美, 松田 瞳, 松沢純子, 八木信一. 医療的ケアを要する小児へのケア向上を目指した多職種協働による富山県での試み. 第5回日本小児診療多職種研究会; 2016 Jul 30-31; 横浜.
- 16) 射場典子, 森田夏実, 佐藤幹代, 瀬戸山陽子, 仙波美幸, 和田恵美子, 竹内登美子, 高橋奈津子. 患者の語り(ナラティブ)から何を学ぶかー健康と病いの語り(DIPEX-Japan)の教育的活用の実際. 日本看護学教育学会第26回学術集会; 2016 Aug 23; 東京.
- 17) 高倉恭子, 城 諒子. サービス付高齢者向け住宅管理者から把握した住宅の実状と課題の検討(第1報). 日本地域看護学会第19回学術集会; 2016 Aug 26-27; 下野.
- 18) 城 諒子, 高倉恭子. 介護支援専門員から把握したサービス付き高齢者向け住宅の実状と課題検討(第2報). 日本地域看護学会第19回学術集会; 2016 Aug 26-27; 下野. (優秀ポスター賞受賞)
- 19) 八木信一, 松沢純子, 林佳奈子, 高木園美, 桶本千史. 富山市医師会と富山大学小児看護学講座での小児医療的ケア実習研修会の試み. 第42回日本重症心身障害学会学術集会; 2016 Sep 16-17; 札幌.
- 20) 酒井瑞穂, 折戸理佳子, 寺田 栞, 二上ことね, 藤井理沙, 林佳奈子, 高木園美, 桶本千史. 小児がん患児の告知・説明に関する文献検討. 第55回富山県小児保健学会; 2016 Oct 2; 富山.
- 21) 山田正明, 関根道和, 立瀬剛志. 両親の生活習慣と児童のメディア時間との関連・文部科学省スーパー食育スクール事業の追加調査から. 第73回北陸学校保健学会; 2016 Nov 27; 石川.
- 22) 保住 功, 山田 恵, 林 祐一, 犬塚 貴, 栗田尚佳, 位田雅俊, 竹内登美子. 特発性基底核石灰化症: 研究の進展と診療ガイドラインの作成に向けて. 神経変性疾患領域における基盤的調査研究班会議; 2016 Dec 16; 東京.
- 23) 山田恵子, 比嘉勇人, 田中いずみ. 臨地実習における看護学生の援助的コミュニケーションと患者への傾倒に関する実態調査. 第17回富山大学看護学会学術集会; 2016 Dec 18; 富山.
- 24) 牧野耕次, 比嘉勇人. 精神科看護における「巻き込まれ」の概念分析. 第17回富山大学看護学会学術集会; 2016 Dec 18; 富山.
- 25) 蘭 直美, 比嘉勇人, 田中いずみ, 山田恵子, 寺西敬子, 比嘉肖江, 牧野耕次. 終末期ケアに携わる介護支援専門員の多職種連携行動と私的スピリチュアリティ(神気性)の調査研究. 第17回富山大学看護学会学術集会; 2016 Dec 18; 富山.

◆ その他

- 1) 藤森純子. 定年退職者地域デビュー後押し. 北日本新聞(朝刊). 2016 Feb 8: 26.
- 2) 関根道和. 非線形回帰モデルによる認知症将来予測: 富山県認知症高齢者実態調査(1985-2014)の結果から. 平成27年度学長裁量経費共同研究報告会; 2016 Mar 3; 富山. (講演)
- 3) 関根道和. 県と共同で高齢者の認知症を研究, 地域課題の解決に取り組む. TOM'S PRESS. 2016 Mar: 13.
- 4) 西谷美幸. 富山大学附属病院新人教育支援者研修ー新人教育支援アドバンス編ー; 2016 Mar 18; 富山.
- 5) 桶本千史, 高木園美, 林佳奈子. 平成27年度富山県多職種連携 第2回小児医療的ケア実技研修会. 小児看護学講座, 地域医療・保健支援部門研修会; 2016 Mar 19; 富山.
- 6) 西谷美幸. 富山大学附属病院新人教育支援者研修ー新人看護師への看護技術指導の方法と評価ー; 2016 Mar 25; 富山.
- 7) 関根道和. 認知症7割受診歴なし 富山大地域連携推進機構分析 早期発見の施策必要. 北日本新聞(朝刊). 2016 Apr 14: 29.
- 8) 関根道和. 2035年 県民1割認知症 富山大, 県調査で推計. 北陸中日新聞(朝刊). 2016 Apr 14: 16.
- 9) 関根道和. 認知症疑い7割受診せず 富大地域連携推進機構が調査. 読売新聞(朝刊). 2016 Apr 14: 31.
- 10) 関根道和. 県民「10人に1人」認知症 35年の割合65歳以上「4人に1人」. 富山大学地域連携推進機構が分析. 富山新聞(朝刊). 2016 Apr 14: 32.
- 11) 関根道和. ココがキニナル 高齢者4人に1人が認知症に. ニュース6(チューリップテレビ); 2016 Apr 14. (情報提供)
- 12) 関根道和. 富山大学が分析 2035年高齢者4人に1人認知症に. KNB ニュース エブリ; 2016 Apr 14. (情報提供)
- 13) 関根道和. 20年後には65歳以上の4人に1人が認知症ー糖尿病対策も急務な課題 富山大で分析. Health Day News; 2016 Apr 25. (情報提供)
- 14) 関根道和. 糖尿病は認知症の重大なリスク因子ー富山大の研究グループ. Health Day News; 2016 Apr 25. (情報提供)

- 15) 関根道和. 富山大学が最新推計結果を発表 2035 年には県民の 10 人に 1 人が認知症に?. みんなの介護ニュース ; 2016 Apr 28. (情報提供)
- 16) 関根道和. 20 年後には 65 歳以上の 4 人に 1 人が認知症ー糖尿病対策も急務な課題 富山大で分析. ケアネットニュース Health Day News ; 2016 May 5. (情報提供)
- 17) 関根道和. 県調査から 2035 年富山県高齢者の 4 人に 1 人認知症になるとの予測結果. 認知症ネット認知症最新ニュース ; 2016 May 6. (情報提供)
- 18) 安田智美, 梅村俊彰, 伊井みず穂, 茂野 敬. 第 9 回富山県在宅褥瘡セミナー開催 ; 2016 May 22 ; 富山.
- 19) 関根道和. こちよ睡眠で生活習慣病を予防しよう. みたか健康づくりセミナー「こちよ睡眠をとるために」 ; 2016 May 27 ; 東京. (講演)
- 20) 関根道和. 20 年後には 65 歳以上の 4 人に 1 人が認知症ー富山大. (株) 産学社エンタプライズ発信～メールマガジン (No.61). 2016 May.
- 21) 関根道和. 認知症一千万人時代に向けた社会環境の整備を考えるー富山県認知症高齢者実態調査の追加分析結果からー. 富山県公衆栄養研究会研修会 ; 2016 Jun 1 ; 富山. (講演)
- 22) 関根道和. 針路を聞くー4 人に 1 人が認知症に・地域全体で医療体制を. 日本経済新聞 (朝刊). 2016 Jun 1 : 35.
- 23) 比嘉勇人, 田中いづみ, 山田恵子. こころの看護研究会 (第 1 回ー第 9 回). 高度専門看護教育講座小研修会 ; 2016 Jun 13-Oct 27 ; 富山.
- 24) 山田正明. 生活習慣と睡眠の大切さ. 砺波南部小学校ー富山県砺波厚生センターヤングヘルスセミナー事業 ; 2016 Jul 1 ; 砺波. (講演)
- 25) 安田智美, 伊井みず穂, 茂野 敬. 在宅高齢者の誤嚥性肺炎予防のための健康教室 ; 2016 Jul-Nov. 7 地区にて開催.
- 26) 高倉恭子. 訪問看護の見える化を考えてみよう (研修会). 公益社団法人富山県看護協会・富山大学地域連携推進機構 地域医療・保健支援部門 (高倉) 主催 ; 2016 Aug 21 ; 富山.
- 27) 関根道和. 「早寝・早起き・朝ごはん」で生活習慣病予防. 平成 28 年度柏崎市・刈羽郡養護教員研修会 ; 2016 Aug 22 ; 新潟. (講演)
- 28) 高倉恭子. 在宅ケアシステム論. 平成 28 年度訪問看護師養成講習会. 富山県看護協会 ; 2016 Aug 24, 30.
- 29) 桶本千史, 高木園美, 林佳奈子. 平成 28 年度富山県多職種連携 第 3 回小児医療的ケア実技研修会. 小児看護学講座, 地域医療・保健支援部門研修会 ; 2016 Sep 9 ; 富山.
- 30) 山田正明. メディアの影響. 富山市立榎尾小学校 ; 2016 Sep 14 ; 八尾. (講演)
- 31) 関根道和, 木戸幹雄, 山田正明, 田村須賀子, 竹内登美子, 西条寿夫, 柴原直利. 認知症最前線 7 人が語る 富山大学市民講座全 3 回. 読売新聞 (朝刊). 2016 Sep 30 : 28.
- 32) 桶本千史. かかわりの困難な学童・思春期の子どもと家族の主体性を育む～ゆらぐ心に寄り添うには～. 第 55 回富山県小児保健学会 ; 2016 Oct 2 ; 富山.
- 33) 山田正明. 長時間のテレビと生活習慣の関連. 魚津市立経田小学校ー富山県新川厚生センター魚津支所 ; 2016 Oct 5 ; 魚津. (講演)
- 34) 関根道和. 高校生の睡眠と健康ー「質」を高めて健康増進と学力向上をー. 富山県立高岡高等学校教育相談講演会 ; 2016 Oct 15 ; 富山. (講演)
- 35) 竹内登美子. 認知症の人を介護する家族の体験ー葛藤からの自己変容. ナース専科 (電子ジャーナル) ; 2016 Oct ; 16 : 1-2.
- 36) 山田正明. 学校保健委員会・元気モリモリ集会. 高岡市立二塚小学校 ; 2016 Oct 17 ; 高岡. (招待と指導)
- 37) 関根道和. 認知症の現状と課題. 富山大学市民講座 2016 認知症最前線ー第 1 回認知症の現状と対策 ; 2016 Oct 22 ; 富山. (講演)
- 38) 山田正明. 認知症対策 日本とフィンランド. 富山大学市民講座 2016 認知症最前線ー第 1 回認知症の現状と対策 ; 2016 Oct 22 ; 富山. (講演)
- 39) 関根道和, 木戸幹雄, 山田正明. 飲酒, 喫煙リスク高める. 富大・市民講座第 1 回. 172 人熱心に聴講. 読売新聞 (朝刊). 2016 Oct 23 : 32.
- 40) 田村須賀子. 認知症高齢者も安心して歩ける地域づくり. 富山大学市民講座 2016 認知症最前線ー第 2 回地域や家庭で認知症高齢者を見る ; 2016 Oct 29 ; 富山. (講演)
- 41) 竹内登美子. 家庭での介護 介護うつ, 虐待に陥らないために. 富山大学市民講座 2016 認知症最前線ー第 2 回地域や家庭で認知症高齢者を見る ; 2016 Oct 29 ; 富山. (講演)
- 42) 関根道和. 認知症をテーマに 富山市で健康を考えるセミナー. JNN 報道特集 (チューリップテレビ) ; 2016 Nov 5.

(情報提供)

- 43) 関根道和. 認知症の実態とその対策－認知症 1 千万人時代に向けて何をすべきか－. 第 12 回クスリのアオキ・ヘルスアップセミナー in 富山 ; 2016 Nov 5 ; 富山. (講演)
- 44) 安田智美, 梅村俊彰, 伊井みず穂, 茂野 敬. 床ずれケアセミナー開催 ; 2016 Nov 6 ; 富山.
- 45) 山田正明. 学力向上につながる生活習慣の確立. 富山県立呉羽高等学校 ; 2016 Nov 15 ; 呉羽. (講演)
- 46) 関根道和. 脳卒中情報システムと TOY STORE の重複登録症例数について. (富山県厚生部健康課) ; 2016 Nov 16. (報告)
- 47) 関根道和. 眠育で健康増進・学力向上－アウトメディアを考える－. 魚沼市学校保健会講演会 ; 2016 Nov 19 ; 新潟. (講演)
- 48) 関根道和, 木戸幹雄, 山田正明, 田村須賀子, 竹内登美子, 西条寿夫, 柴原直利. 富山大学市民講座「認知症最前線」読売新聞 (朝刊). 2016 Nov 25 ; 31.
- 49) 桶本千史. 保育環境での子どもの健康管理. 一般社団法人日本保育保健協議会 平成 28 年度中部 (第 4) ブロック研修会 ; 2016 Nov 27 ; 富山.
- 50) 関根道和. 早寝・早起き・朝ご飯で生活習慣病予防－生活習慣に与えるメディアの影響－. 上越市学校保健会研修会 ; 2016 Dec 1 ; 新潟. (講演)
- 51) 山田正明. メディア時間を減らしてよい生活習慣を. 富山市立鶴坂小学校 ; 2016 Dec 1 ; 婦中. (講演)
- 52) 桶本千史, 高木園美, 林佳奈子. 子どもの緊急時対応 子どもの生命と安全をまもるために. あなたならどうする?. 第 19 回高度専門看護教育講座研修会 ; 2016 Dec 17 ; 富山.
- 53) 高倉恭子, 城 諒子. 訪問看護ステーション事業評価. 富山県看護協会訪問看護コールセンター ; 2016.
- 54) 高倉恭子, 鈴木唯夏子. 地域包括ケアシステム構築に向けた実証開発プロジェクト 訪問看護の事業効率と多職種との連携強化を目的とした ICT 活用の基盤整備事業. 富山県看護協会 ; 2016.
- 55) 高倉恭子. 在宅医療・介護の連携推進事業. 富山市医師会 ; 2016.